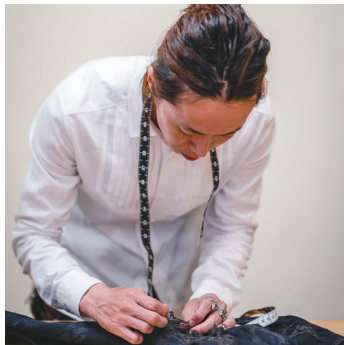


# 人の気持ちを華やかにする 服づくりを目指して。

青木 俊樹

専務取締役 / デザイナー



## もっと生の声

### Q & A

— 今後取り組んでみたい、実現してみたいことは？

私は洋服のデザイナーですが、これからのデザインは洋服に限定されるものではないと考えています。デニムの可能性を信じ、異業種とのコラボレーションを常に考え、デザイナーの力をライフスタイル全般へと広げていきたいです。

— 思い出に残っているエピソードは？

イギリスの伝説的ロックバンドの元メンバーがFAGASSENTブランドのデニムパンツを愛用してくださっていると聞いたことです。その他にも、国内の有名ロック歌手の方々にライブやPV衣装として着用して頂いています。

— 将来繊維産業に従事する人へメッセージをください。ファッションやデザインは人の気持ちを華やかにできる力があると信じています。

華やかな世界と一見思われがちですが、その源を作り出し、沢山の方に喜んで頂けるブランド及びデニムファクトリーであるためには、日々の小さな積み重ねを一つずつ怠ることなく丁寧にしていくことが一番大事です。人の気持ちに華を添える源であるために、私達自身も日々一生懸命であることが欠かせません。是非私達と一緒に繊維産業を盛り上げていきましょう！



“デザインすることの素晴らしさ”自分の感性が3次元となり、コレクションとなることを追い求めて、家業である青木被服に入社した青木さん。大手アパレルメーカーに勤務後、デザインの勉強をするためロンドンに留学したという経歴の持ち主。現在は、自社ブランド「FAGASSENT」と「LOST ANGELS」のデザインを担当するほか、2020年4月からは、自由な発想で時代に必要なものをデザインする「青木被服」のデザイン・企画も担当しています。「当社で扱う素材は、薄手の素材から厚手の素材まで幅広く多岐にわたりますが、素材の特性（伸縮性や厚みなど）を考慮し、正確に縫う技術や、柄生地を正確に縫う技術など、長年研究し技術を磨き、「着心地の良さ」を追求しています。」

デザイナーとしてコミュニケーションと自己研磨を大切にしている青木さん。「生地やパターン、縫製それぞれの工程に関わる人が、自分のデザインに対して、同じイメージを共有できるよう伝えなければ良いものはできません。それを限られた時間の中で、的確に伝えられるよう心がけています。」「常に時間に追われる日々ですが、コレクションを作り上げた後、シーズンを振り返ることで、デザインを通じてブランドと共に成長できていると実感できます。」

「デザインが最終製品になるまでの全ての工程に関わることができる環境がこの産地にはあります。凄いことだと思います。この産地で仕事をする魅力のひとつですね。」井原から世界に向けて青木さんの挑戦は続きます。

